

2013年合格目標 8ヵ月速修コース スタANDARD

無料公開セミナー&講座説明会

『短期合格を可能にする学習プランを公開!』

担当講師 司法書士 土屋 武大

第1章 司法書士試験概要

1. 試験概略

2. 筆記試験について

(1) 出題形式

筆記試験の出題形式は択一式（午前の部35問、午後の部35問）と記述式（午後の部2問）に分けられる。

択一式は五肢択一の形式で出題される。膨大な知識量とともに精度の高さを求められる。また、解答するスピードも重要である。

①単純正誤

②組合せ（大半を占める）

③個数算定（難易度高め）

記述式は登記申請書の作成やその他の事項についての記述を求められる。単に申請書が書ければよいというものではなく、事実関係や書面から必要事項や問題点を読み取り、実体上の判断を踏まえて登記申請をするという極めて実務的な処理が求められる。

(2) 出題科目・出題数

午 前 の 部	科目	択一式
	憲法	3問
	民法	20問
	刑法	3問
	商法（会社法）	9問

⇒『実体法』が出題される。

午後 の 部	科目	択一式	記述式
	民事訴訟法	5 問	—
	民事保全法	1 問	—
	民事執行法	1 問	—
	司法書士法	1 問	—
	供託法	3 問	—
	不動産登記法	1 6 問	1 問
	商業登記法	8 問	1 問

⇒『手続法』が出題される。

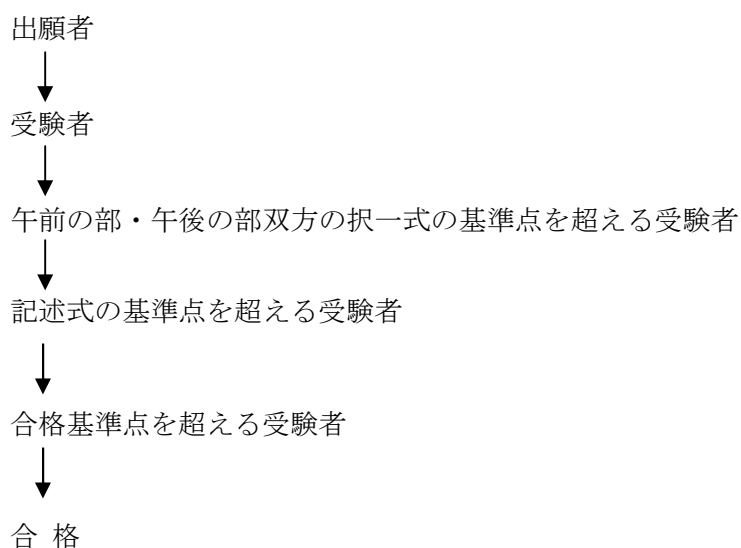
(3) 配点

配点は択一式が1問3点（午前の部・午後の部各105点満点）、記述式は2問で70点満点で合計280点満点とされている。

(4) 合格率

	17 年	18 年	19 年	20 年	21 年	22 年	23 年
出願者数（名）	31,061	31,878	32,469	33,007	32,558	33,166	31,228
合格者数（名）	883	914	919	931	921	948	879
合格率（％）	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8

(5) 合否の判定方法



(6) 合格ライン

	午前の部択一式	午後の部択一式	記述式	合格基準点
平成 14 年度	81 点 (27 問)	75 点 (25 問)	32.5 点	206.0 点
平成 15 年度	84 点 (28 問)	72 点 (24 問)	36.0 点	208.5 点
平成 16 年度	78 点 (26 問)	72 点 (24 問)	31.5 点	197.0 点
平成 17 年度	87 点 (29 問)	78 点 (26 問)	25.5 点	203.5 点
平成 18 年度	81 点 (27 問)	75 点 (25 問)	31.5 点	202.5 点
平成 19 年度	84 点 (28 問)	84 点 (28 問)	30.0 点	211.5 点
平成 20 年度	84 点 (28 問)	78 点 (26 問)	19.5 点	189.5 点
平成 21 年度	87 点 (29 問)	75 点 (25 問)	41.0 点	221.0 点
平成 22 年度	81 点 (27 問)	75 点 (25 問)	37.5 点	212.5 点
平成 23 年度	78 点 (26 問)	72 点 (24 問)	39.5 点	207.5 点
平成 24 年度	84 点 (28 問)	78 点 (26 問)	—	—

※平成 20 年度までは記述式が 2 問で 52 点満点とされていたため、試験全体の合計点は 262 点満点だった。

第 2 章 思考方法・学習方法

1. 試験の仕組み・特殊性を理解する

2. 膨大な分量を克服する

3. 『条文』と『過去問』を制する者が本試験を制する

4. スケジュールの検討

(1) カリキュラムについて

- ①基礎講座＜主要 4 科目＞と＜マイナー科目＞
- ②ブリッジ講座の位置づけ、役割
- ③インプットとアウトプットの連動

- (2) 焦りは禁物、後になって理解できることも少なくない
⇒一通りやってみる

- (3) 直前期の重要性
⇒逆算の発想

5. 講義をどう活かすか

- (1) 勉強時間はどれくらい必要なのか
- (2) 講義と自習の密度の差
- (3) トレーニングとチャレンジ問題 ⇒徹底した復習

6. 自分の勉強方法を確立する

- (1) 自分が合格に必要なだと確信したことだけをやる
- (2) 忘却を恐れない
- (3) 自己のおかれた環境に応じて進める ⇒時間の工夫
- (4) やるべきことをやる
 - ①優先順位を考える
 - ②与えられた時間は限られている
 - ③本試験で満点を取ることが目標ではない
- (5) 日々の努力と丁寧な準備の積み重ね
 - ①真摯に向き合えた者だけが勝利する
 - ②知識量だけでなく精度の高さが重要
 - ③とにかく繰り返す
 - ④難しく考えすぎないことも重要

7. 短期合格に必要なものとは

⇒『整理された正確な知識』&『強い信念と明確な目的意識』